

アジアの伝統芸能 第五回



白蛇伝の世界 (三)

川劇の特殊技法



許仙を演じる陶長進さん



〔質問〕

許仙を演じている陶長進さんは、
女性なのでしょうか？

また、なぜあんなに高い声で歌う
のでしょうか？

中国伝統演劇の表現技法(五) 假嗓

〔解説〕

中国の伝統演劇では、前回紹介した**臉譜**（くまどり）や**髯口**（ひげ）のほかにも、発声法でも年齢層の違いが表現される。

中高年の役柄が**地声**（**真嗓**）を使うのに対して、若い男女の役柄は裏声（**假嗓**）を使う。

許仙を演じている陶長進さんは男性だが、若い男性役（**小生**）のため**假嗓**が使われている。



許仙を演じる陶長進さん

川劇「白蛇伝」第五場 端陽驚変

〔解説〕

蛤蟆の精に惑わされた許仙は、白蛇に雄黄酒を飲むようにと迫る。

蛇にとっては猛毒の雄黄酒。すでに許仙の子供を身ごもっていた白蛇は懸命に拒むが、夫に疑念を抱かれるのを恐れ、やむをえずこれを口にする。





川劇「白蛇伝」第五場 端陽驚変(中) (05:44)

中国伝統演劇の表現技法(六) 僵尸

〔解説〕

中国の伝統演劇には、登場人物の心情を表現する多くの所作がある。

次の場では、白蛇の本性を見た許仙の驚きの心情を**甩髪**（しゅっぱつ、冠を飛ばし、頭を回して髪の毛をふりほどく所作）、恐怖のあまり人事不省になるようすを**僵尸**（きょうし、正面を向いたまま、背を後ろに丸め、倒れる所作）によって表現している。



甩髪



僵尸

川劇「白蛇伝」第五場 端陽驚変

〔解説〕

雄黄酒を口にした白蛇は、苦しみのあまり本性を現してしまふ。

大蛇と化した妻の姿を目にした許仙は、恐怖のあまり人事不省となる。



川劇「白蛇伝」第五場 端陽驚変(下) (06:35)

中国伝統演劇の役柄

〔解説〕

中国の伝統演劇では、**行当**(役柄)は男女・年齢・文武・道化などで細分化され、分業化されている。

『白蛇伝』の後半は立ち回りが多くなるため、白蛇役は**正旦**の古小琴から**武旦**の楊楠華に交替する。



楊楠華



古小琴



第六場では、三仙島へ仙薬を盗りに行った白蛇が、雄黄の波に襲われる場面が登場する。

このような水や風などの流れを、あなたならどのような方法で表現するか。

中国伝統演劇の表現技法(七)水旗

〔解説〕

中国の伝統演劇では、吹きすさぶ風や押し寄せる水を表現する際、**風旗**や**水旗**と呼ばれる旗が使われる。**風旗**には黒、**水旗**には白の旗が使われ、雲牌と同じように歌や舞にあわせて動的に表現される。

第六場では、白蛇を襲う雄黄の波を表現するため、水旗には雄黄色の旗が使われている。



川劇「白蛇伝」第六場 仙山盗草

〔解説〕

白蛇は人事不省となった許仙を救うため、起死回生の仙薬である靈芝仙草を取りに三仙島へ向かう。

島を守る鹿や鶴の精が仕掛けた雄黄の陣によって、白蛇はあやうく命を落としそうになる。

しかし、その一途さに心打たれた南極仙翁に救われ、仙草を持って許仙のもとに帰る。



川劇「白蛇伝」 第六場 仙山盗草 (7:49)

川劇「白蛇伝」第七場 許仙迷魂

〔解説〕

白蛇が三仙島から持ち帰った靈芝仙草のおかげで、許仙は一命を取り留める。

しかし、妻への疑念は消えない。

そんな許仙の前に、如来に遣わされた法海が現れる。法海は迷魂傘を使って許仙に魔法をかけ、鎮江にある金山寺へと連れ去る。



第七場

許きよ仙せん迷めい魂こん

(法海、許仙を惑わす)



杭州

杭州から鎮江の金山寺へ

A topographic map of the Hangzhou-Zhenjiang region in China. The map uses a color gradient from green to yellow to represent elevation. A network of blue lines represents rivers and waterways. Two black dots mark the locations of Zhenjiang and Hangzhou. A dark green rectangular box with white text is positioned above the Zhenjiang dot, and another similar box is positioned below the Hangzhou dot. The map shows a complex river system, including the Yangtze River and its tributaries, flowing through the region.

鎮江

杭州

杭州から鎮江の金山寺へ



金山寺(江蘇省鎮江市)

川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山(上)

〔解説〕

許仙を取り戻すため、白蛇は水族（水中に住む生物の精たち）を率いて金山寺に向かう。

「夫を返してください」と白蛇は懸命に頼むが、法海は聞き入れようとしない。そればかりか哼・哈、監齋、哪吒などの天将を次々と繰り出し、白蛇を退治しようとする。



哼・哈



監齋と哪吒



川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山（1）金山寺へ(7:48)





川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山（2）哼哈・監齋・哪吒との戦い(2:20)

川劇の特殊技法

〔解説〕

川劇には、中国伝統演劇で広く使われる表現技法のほかに、独自に生み出された特殊技法がある。

第八場の水漫金山では、白蛇率いる水族と法海率いる天将との幻想的な戦いが、川劇独自の特殊技法を使って巧みに表現されている。



開慧眼



変臉



開慧眼

次の場面では、天将の一・護法韋
馱が登場する。
役者は**開慧眼**という特殊技法を使
い、護法韋馱の額に第三の眼（魔力
を持つ慧眼）を開く。
この眼はどのようなようにしてつけるの
か？

川劇の特殊技法(一) 開慧眼

〔解説〕

開慧眼は川劇の「戲聖」と呼ばれる康芷林（一八七〇～一九三〇）が創始した特殊技法。

訓練によって鍛えた柔軟な足を使ってつま先を蹴り上げ、靴の先につけた眼を額の中央に貼り付ける。



開慧眼





川劇の特殊技法(一) 開慧眼

中国伝統演劇の表現技法(八) 腿功

〔解説〕

脚を使った表現技法を腿功といい、**踢腿**と**抬腿**の二種がある。

開慧眼に使われるのが**踢腿**。踢とは蹴る動作をいう。

写真は護法韋駄を演じた王整さんが、**抬腿**の練習をしているところ。

抬とは足を挙げる動作をいい、武芸に長じていることを表わす。





“抬腿”の練習風景(護法韋駄を演じる役者・王整さん)

川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山(上)

〔解説〕

法海は続いて天将の一・護法韋駄を呼ぶ。

護法韋駄は、額に第三の眼（魔力を持つ慧眼）を開き、隠れた白蛇たちを見つけ、退治しようとする。



護法韋駄





川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山（3）護法韋馱との戦い(2:54)





川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山 (4) 青龍禪杖との戦い (5:39)

中国伝統演劇の表現技法(九) 毯子功

〔解説〕

各種のアクロバットの表現技法を
毯子功という。

毯子とは、舞台の上に敷かれた絨
毯のこと。**毯子功**は単なるアクロ
バットではなく、物語の展開と音楽
にあわせて行うことが求められる。





“毯子功”の練習風景

川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山(五)

〔解説〕

身重の白蛇は、法海が繰り出す天将たちの執拗な攻撃に耐えかね、ついに金山の水攻めを決意する。

白蛇率いる水族と法海率いる天将との間で、熾烈な戦いが始まる。





川劇「白蛇伝」第八場（5）水漫金山（4:00）

中国伝統演劇の技法(四) 臉譜①

〔解説〕

中国伝統演劇の臉譜(くまどり)は、登場人物の年齢を表すだけでなく、その特徴や性格も表す。

次の場面で登場する風神と火神は、神秘的な神の姿を表すため、左の写真のような独特の臉譜が描かれている。



風神



風神と火神

京劇の臉譜



紅臉

三国志演義の中で忠義の象徴として描かれる関羽の臉譜(京劇「華容道」より)



白臉

漢王朝の帝位篡奪をもくろむ奸臣・曹操の臉譜(京劇「長坂坡」より)



歌舞伎の隈取



筋隈

管丞相(菅原道真)に仕える
忠義の臣、梅王丸の隈取
(「菅原伝授手習鑑」より)



公家荒れ

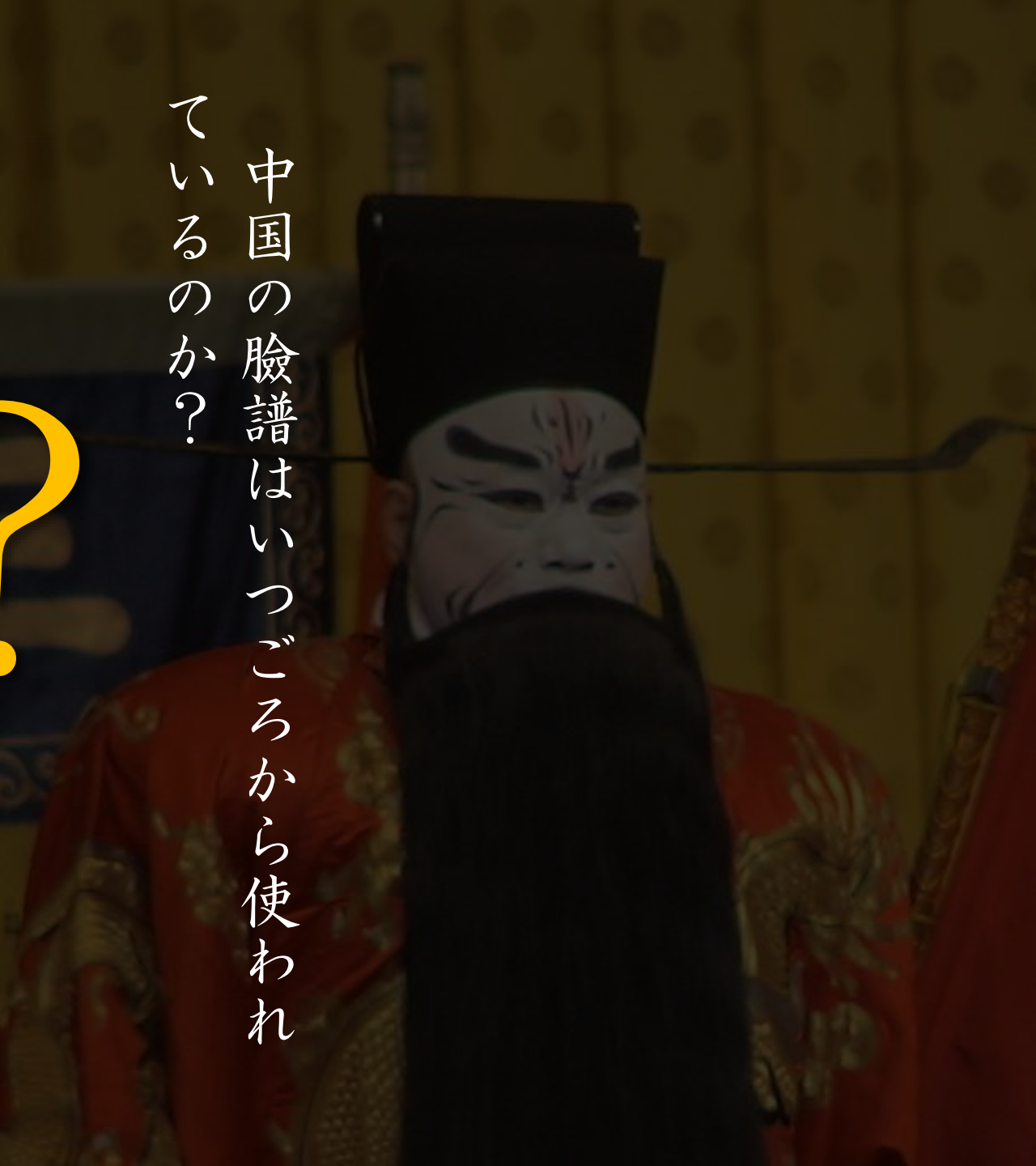
帝位篡奪をもくろむ奸
臣・藤原時平の隈取(「菅原
伝授手習鑑」より)





歌舞伎『菅原伝授手習鑑・車引』（歌舞伎座 2018年）

中国の臉譜はいつごろから使われ
ているのか？





元雜劇壁画(山西省洪洞县明忘王殿 泰定元年(1324年))





元雜劇壁画(山西省洪洞县明忘王殿 泰定元年(1324年))

川劇の特殊技法(二) 変臉

〔解説〕

川劇には、臉譜を瞬時に変える**変臉**という特殊技巧がある。

変臉には**抹彩**、**拉綫**、**気功**の三種があるが、次の「水漫金山」の場では、鉢童が**拉綫**（臉譜を描いた絹布に糸をつけ、顔の上に重ね貼りし、それを音楽に合わせて一枚ずつ剥ぎ取る）という技巧を使って、喜怒哀楽の感情の変化を表現する。





川劇の特殊技法の一“変臉”

川劇「白蛇伝」第八場 水漫金山(六)

〔解説〕

法海は妖魔を捕らえる魔力を持つ紫金鏡鉢を持つ鉢童を呼び出す。鉢童は喜怒哀楽の表情を変えながら、白蛇に襲いかかる。

最後の力を振り絞り、懸命に戦った白蛇だったが、身重のため、ついに力尽き、長江の中へと姿を消していく。





川劇「白蛇伝」第八場（6）紫金鏡鈸（7:09）

まとめ

今回の授業では、川劇「白蛇伝」の第五場後半から第八場までを鑑賞しながら、中国伝統演劇の表現技法である**假嗓**、**水袖功**、**水旗**、**毯子功**を学んだ後、川劇独自の特殊技法である**開慧眼**、**変臉**について学んだ。

開慧眼は、人間の身体能力を極限まで極めた技法であり、**変臉**は物語の展開にあわせて顔の隈取を变化させることにより、登場人物の感情の变化を幻想的に表現している。

中国の伝統演劇は、日本の能や狂言と同様に、こうしたさまざまな表現技法を使って役者の身体表現を最大限に活かし、「**有声必歌**、**無動不舞**」（声あれば必ず歌い、舞わざる動きなし）と評される舞台を作り出しているのである。